

# 東広島学校通信

# ガッツ!



東広島市観光マスコット「のん太」

## VOL. 17

発行：東広島市教育委員会  
 学校支援センター  
 〒739-8601  
 東広島市西条栄町 8 番 29 号  
 TEL 421-1155 FAX 420-0914  
 INK 発行日：令和6年2月14日

## 学校ナビゲーション

広島大学教職大学院とのコラボ企画！！

安心・安全な学びと育ちを目指すマネジメントを探る



私たちは、広島大学教職大学院で学んでいる県内の現職教員です。前回 (Vol.15)、黒瀬町にある6つの小中学校のうち、黒瀬中学校と中黒瀬小学校を紹介しました。今回は、上黒瀬小学校、板城西小学校、下黒瀬小学校、乃美尾小学校を訪問し、各学校の取組や校長先生の学校マネジメントについて取材させていただきました。

## 地域から信頼され愛される学校へ

～子どもたちの「確かな学びと育ち」に向けて～

### 下黒瀬小学校

学校教育目標

かしく やさしく たくましく  
 ～社会に出て通じる力の育成～



進んで学び合う子、自分も人も大切にする子、何事も最後までねばり強くやり抜く子の育成に向けて、「好奇心・探究心」「人間関係形成力」「実行力」の3つを軸に教育活動を展開しています。若狭校長先生は、様々な場面で、何を学ぶのか、ねらいを焦点化し、児童・教職員で共有、活動し振り返るという流れを大切にしています。校長先生のリーダーシップのもと、学校全体で目標に向けて前進しています。

「学びのつながり」と「協働」で児童が育つ

縦割り班でのフィールドワークは、下黒瀬小学校や地域の歴史をたどります。保護者、地域の方、広島国際大学の学生も参加し、学校内外で開催されます。コースづくりを工夫し、学校も地域も子ども大人も「みんなが主役」の行事です。



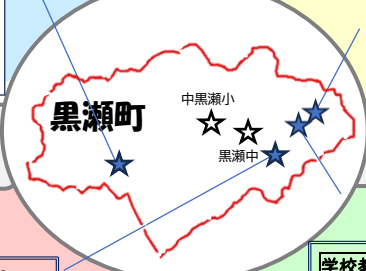
創立150年を記念して制作された歌、「あかるい未来へ」は児童の思いを歌詞にのせて制作されています。「歴史の中にある学校。今日も歴史の1ページ。歴史をつくる人、そして先の歴史をつくる人」という意識で大きな歴史のつながりの中で児童・教職員全員がつながり、1日1日を大切に過ごしています。

6年生の太鼓「黒瀬の四季」の学年練習では、先生方の熱い指導と児童全員の真剣な眼差しから、地域への愛を感じました。



教職員が対話し、協力して、児童が「わかった」「できた」を実感できる授業づくりを行っています。また、5年生の担任が6年生の理科の授業を担当するなど、学年を超えた協働で児童の成長を図っています。

【学校訪問を終えて】黒瀬中学校区では、校長先生を中心に地域をはじめ様々なつながりの中で、児童生徒にとって安心・安全の学びの場が整えられています。



### 板城西小学校

学校教育目標

夢と志をもち「自分育て」をする子どもの育成  
 -かかわりあいながら「いいちえ」「いいあせ」「いいところ」で自分を伸ばす子ども-



「えがお」をテーマに、増上校長先生は学校づくりを進めています。「いいちえ」「いいあせ」「いいところ」それぞれについて教職員とコミュニティ・スクールのメンバーで協議し、具体的な子どもの姿を共有しています。芋ほり、花植えの活動に地域の方がたくさん参加されていました。小規模のよさを生かし、地域とのつながりを大切にしながら、安心して子どもたちが学校生活を送れるように、学校全体で子どもたちの心を耕す取組を行っています。

「安心」と「つながり」で児童が育つ



芋ほり等の活動を一緒にする中で、子どもたちは地域の方とのつながりを深めていきました。このようなつながりの中で、子どもたちはたくさんの人と関わり合いながらのびのびと育っているのですね！



児童との活動前に集まって今日の学び等について話される地域の方々。「学校は地域の人が集まる場であり、学校を経由した地域づくりをしたい」と、多くの地域の方が参加されます。学校を中心とした地域づくりが進められています。



「算数のわからないところを教えてください」「いつも大きな声であいさつしているいなと思います。」「など、言われた相手が笑顔になって、言った方も幸せな気持ちになる「ほかほかメッセージ」の取組を同学年異学年で積極的に進めています。あたたかい声掛けで、子どもたち同士が心のつながりを実感しています。

各校では、強みを生かした多様な教育活動が展開され、子どもたちは地元への愛着を深めながら主体的に学習に取り組む力を伸ばしていると感じました。(教職大学院生一同)

### 乃美尾小学校

学校教育目標

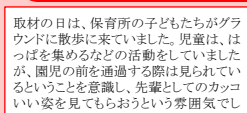
未来に向かって 学び続ける



今朝丸校長先生は、異学年との交流、小学校区にある保育所、中学校、高等学校、大学との交流や生涯学習センター所長とのつながりなど、地域の強み・良さを活用した、児童がワクワクを感じる学校づくりを進めています。このような活動を通して地域・学校に誇りを持ち、未来を担う児童が育つ日々の教育活動を工夫しています。

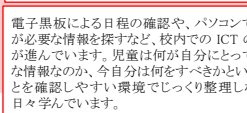
「交流」と「ワクワク感」で児童が育つ

休憩時間中の一場面。上級生が下級生の背中を押すなど、皆で楽しく休憩時間を過ごしています。下級生は上級生の姿に触れることで、自分たちほどのような上級生になっていきたいと考えながら過ごしています。



取材の日は、保育所の子どもたちがグラウンドに散歩に来ていました。児童は、はっぱを集めるなどの活動をしていましたが、園児の前を通過する際は見られているということ意識し、先輩としてのカッコいい姿を見てもらおうという雰囲気でした。

児童会が「他学年の人と仲良くなり気軽に話せるように」と企画した「特別遊び朝会」や、地域の方から学ぶ体験活動の充実など、人との交流を大切に学習が進められています。



電子黒板による日程の確認や、パソコンで自分の必要な情報を探するなど、校内でのICTの活用が進んでいます。児童は何が自分にとって必要な情報なのか、今自分は何をすべきかといったことを確認しやすい環境でじっくり整理しながら日々学んでいます。

### 上黒瀬小学校

学校教育目標

自ら学ぶ意欲にあふれた児童の育成  
 -かしく やさしく しなやかに-



税所校長先生は、児童も教職員も元気に過ごせる学校づくりを進めています。自分で選択し、振り返りを大事にすることで、決めたことに責任をもてる児童の育成をめざしています。教職員で、業務内容の精選や効率化を積極的に進め、児童と関わる時間や授業づくりの時間を確保しています。課題予防的な生徒指導によって教員の迅速な対応と確実な連携で、児童は安心して学校生活を送っています。

「安心できる環境」と「授業」で児童が育つ



児童は毎朝、たくさんの地域の方に見守られて元気に登校してきます。また、地域の方が校内でドライフラワーの製作、学校の畑の手入れ、授業のサポート等をされています。学校が目ごころから、地域の方とともに学ぶ場となっています。

朝の会では、どの教室からも子どもたちの元気な歌声が響いていました。学校が子どもたちにとって、安心して生活でき、どどんとチャレンジできる場所になっているのを感じました。



「子どもたちしっかり学力をつけてあげたい」という思いのもと、研究主任の先生を中心に学校全体で教員の授業力向上に取り組んでいます。先生たちの熱心な授業研究と、児童の頑張りが調和し、学力向上につながっています。



## 生徒指導と学級経営を大切に —大切な人に誇れる自分であること— 寺本風花 (てらもとふうか) 教諭 (寺西小学校)

- ① 東広島市の感想—先生方があたたかく子供たちを大切に育てている。子供たちは素直でかわいらしい。先生方と教材等について交流できる。
- ② 1年を振り返って—子どもたちの成長を感じている。集団で学ぶ意味を教えた。
- ③ これからの目標 (10年目 20年目に向けて) 仕事とプライベートを両立させ、教師の仕事大切に続けていきたい。小学生の頃の思い出—いっぱい失敗して、いっぱい叱られた。その当時の先生方や母から相手の気持ちを考えて行動しなさいと常に教えられて今がある。

安芸郡府中町から東広島市に転勤してきて、あつという間に1年が終わろうとしています。赴任した当時は、知らない土地で不安がいっぱいでしたが、寺西小の先生方は、温かく迎えてくださいました。私も先生方へ積極的に話しかけ、コミュニケーションを大切にしてきました。

寺西小の児童は、豊かな感性をもち、純粋で目がキラキラしています。本当にかわいいです。過日行った校内研修(体育科の研究授業)では、先生方から、跳び箱の学習を頑張った児童をほめていただきました。児童の成長を感じて嬉しかったです。教師としての成長にもつながり、研究授業を行って良かったと思いました。良い機会をいただきました。これからも、自分のモットーである生徒指導を大切に、長く教員生活を送っていききたいと思います。



## 進んで学ぶ、仲間と学ぶ 自主研究サークル紹介 小学校体育サークル

第2回

～結成 18年！



サークルとしては、2年目とお伝えしますが、実は18年くらい前から活動しています。ペースになるのは市教研体育委員会での授業公開(年間なんと4校での授業があります!)。その公開授業について、有志による授業検討会を続けてきたのです。

その検討会の特徴は、「とにかく議論が具体的に効率的」なこと。毎回1時間少々でも充分深まった議論がなされ、その後に開催される懇親会でさらに参加者が増えることもしばしば。代表の中嶋先生は「どの学校でも体育はしているのに、体育の研究授業を見て話し合う機会は少ないので、サークル活動で取り組む意義は大きいです。年齢に関係なく気軽に参加してほしい。」と話しています。



11月の市教研後の実技協議会！サークル活動と市教研の授業機会をうまくつなぐ活動です

### サークルデータ

- ・設立 2006年ころ
- ・所属人数 15名程度
- ・年4回金曜日 18時～19時
- ・会場 サンスクエア
- 代表者 中嶋功史(御園宇小教諭)

## 東広島市で頑張る若い先生を紹介します！

### アドバンスフレッシュマン

採用後4年を経過して、東広島市に赴任して活躍している若い先生たちです

第4回

## じっくり考えさせる授業を—先輩教員の話が素直に聞ける人間でありたい— 沖村太音 (おむらたね) 教諭 (磯松中学校)



東広島では、体育大会や文化祭などの学校行事に懸ける思いが強く、生徒中心の活動を仕組み、生徒が主体的に活躍できるよう取り組んでいるところが、素晴らしいです。自分もそんな生徒たちが大好きなので、学校が楽しくて仕方ないです。教師としての目標は、授業力・学級経営力を向上させたいと考えます。また、先輩教員の話が素直に聞ける人間でありたいと思っています。自分の課題であるしゃべりすぎる授業から、じっくり考えたり、教え合いをさせたりして、生徒の学力向上に取り組みたいです。

- ① これからの目標 (10年目 20年目に向けて) — 特段の目標があるわけではなく、今できていないことができるようになりたい。わかる授業を通して、生徒が安心して過ごせるクラス・学校を作っていきたい。
- ② 自分の好きなおこと—ご飯を美味しく食べる・笑いを大切にする・生徒が大好き
- ③ 小学生の頃の思い出 印象的なもの  
母親に2年になったら九九を学習するからと言って小1の時に九九を覚えさせられた。2年になりみんなの前で一番に発表し、担任からすごく褒められ、クラスみんなから喝采を浴びて数学が好きになった。大学も理数学部数学科を選び、大学3年の時教師になろうと決めた。

## 「出会いは必然」—ぶれない芯をもって仕事に向き合う— 末久朝美 (すえひさともみ) 養護教諭 (西条小学校)

- ① これからの目標—たくさんの人と出会う中で見方、考え方の幅を広げてぶれない芯を持つこと。
- ② 趣味、自分の好きなおこと—旅行計画を立てること。食べることが好きで何でもおいしくいただく。日本酒も好き。西条は酒どころでよかった。あまりこだわりがなく、色々な人と付き合っている。
- ③ 小学生の頃の思い出—一人前にできることが好きだった。発表会の劇では、主役を演じた。歌を歌うのも好き。ソロが好き。



「先生たいません。」「なに? たいま?」と返事に困ったことが最初の赴任先の思い出です。今では広島弁にもすっかり慣れ子供たちとの会話に「～じゃね。」と話している自分がいます。ご縁があって沖縄から広島県の養護教諭として採用になり、5年目をむかえたところです。赴任した西条小学校は、先生方が同じ方向をむき、尚且つ、研究熱心で子供たちのために何が出来るか常に考

え、適切に導いていると思います。その一員になって教師として学ぶことが多く、やりがいのある職場です。座右の銘は、父の影響を受け、「出会いは必然」これからも人との出会いを大切に見方、考え方の幅を広げ、自分の中にぶれない芯を持ち、仕事と向き合っていきたいと思っています。

## リレーコラム「私の出会った子どもたち、先生たち」

第17回

今回は前回の田部先生からご紹介いただいた小林正悟先生。高校教諭希望だった小林先生が小学校を選ばれたのは・・・

### 人生の《道しるべ》は可愛い子どもたち

子ども達の無邪気で純朴な心が、私の人生の進路変更を決断させてくれた。

昭和46年10月、「高等学校教員採用試験合格者名簿搭載(保健体育)」の速達を県教委から受け取る。体育大学卒業の私は、来年4月からは高等学校保健体育の教師になれると有頂天。特に、剣道部で生徒を鍛えるという大きな夢への挑戦が出来ると信じていた。ところが3月になっても採用通知が来ない。名簿搭載されていても、昭和47年4月の採用はなかったのだ。当時は登載の期間が1年という条件の中、8月に入り「9月から小学校に勤めたらどうか。高校は枠ができるかどうか分からない。」との話があり、悩みに悩んだ。小学校の子どもたちを教えるなんて考えてもいなかったし、教科書さえ見たことはなかった。小学校全教科指導は絶対無理だと思ったが、一応話を聞くこととなった。その小学校は2年生のあるクラスが騒がしい状況が4月から続いており、担任が悩みながらなんと一学期を終え、退職されたということであった。校長先生が男性の先生をどうしても迎えたいという話を聞いた勢いで赴任が決まった。当時その小学校では6年ぶりの男性採用ということで、先生方は、右も左も分からない私を優しく見守り、本当に可愛がっていただいた。

忘れもしない昭和47年9月1日、不安だらけの小学校よちよち先生、教員生活のスタートを切った。「2年3組担任、小林正悟先生です。」と教頭先生の全校紹介。『オッ』と驚き騒ぐ2年3組の子どもたち。出会いは新鮮で子ども達も様子見である。指導は「雀の学校」のごとく鞭をふりふりチンパッパ。「うちのおじいちゃん、教育長なんよ。言うちやるんじゃけえ」と男の子の声。「そのおじいちゃんにしっかり鍛えちゃってくれと頼まれたんだー。」と答えると、元気のよい子たちは沈黙、観念の様子。数日で子どもたちは私の掌に。子ども達とは毎日肉弾合戦。先生方の見様見真似の授業、指導書類の授業づくりなど、幼稚な指導にも関わらず、澄んだ瞳で純朴な心で接してくれる子どもたちに心を奪われる。

しかし、私は大変なことをしてしまった。10月の秋の遠足。子ども達と輪になっての昼食。O君が大きな真っ黒なおお餅を食べているのを見て、思わず言ってしまった心無い一言、「Oちゃん山賊むすび好きなんだね」。OKんの弁当は他に鮮やかなおかずもなく質素だった。取り返しのつかない言葉がけと気づくが、もはや遅かった。過ちを隠すように、自分のおかずを差し出すという愚かな行動でその場をしのいでしまった。児童の生育環境や背景、子どもたちの心に沿った目の高さに立った指導の大切さなど、つくづく思い上がっていた自分を恥じた。そんな私でも、子ども達は先生の失敗も笑いに変えてついてきてくれた。純真な子ども達に支えられ、どうにか教師1年が終わる。小学校の教育に少し興味が沸く。

昭和48年教師2年目、3年生担任。私にとって生涯忘れられない年となる。悲しく切ない別れと心優しいエンジェルたちとの生活の中で、初等教育・人間教育の美しさや重み、生きるということの意味を大いに知らされる。

8月の終わりにD君から手紙が届く。「先生、ぼくは腕の病気で入院しました。少し痛いです。早く治って学校へ行きたいです。」という内容。早速、様子を伺うために家庭訪問をすると、お母さんから耳を疑うような言葉。涙を浮かべながらの「右腕が骨肉腫という診断で、現在の医療では完治は難しい。」という言葉に、頭が真っ白になり、かける言葉も見つからなかった。

クラスの子も達には「D君は怪我で学校を休むので激励、応援の手紙を書いてあげようね。」と伝え、週一回の手紙のやり取りを始めた。D君は体が小さくいつも笑顔でまるで弟のようにみんなにかわいがってもらっていたので、子どもたちも本気で手紙に向かってくれた。私は毎週手紙を運びD君を励まし、子どもたちの様子を話してやったが、微笑みながら聴いてくれるD君の姿に切なさ募る毎日だった。

ところが10月の末、お母さんから「進行が早く右腕を肩から切る治療になる。学校に行くことはもうできない。」と胸を割く言葉が発せられる。友達にどうしても会いたいと言うことで、11月の初め、タクシーの中から正門近くで数分間の再会となった。D君の病気の重さを知らない子どもたちの喜びあふれた出迎えはずましかった。そのときのD君の微笑む姿が忘れられない。D君の少し浮腫んだ顔、隠し笑いの母さんの姿に私は眼のやり場がない。子ども達はD君が学校に帰ってくると信じている。手紙・折り紙での交流が続く中で、現実は一変した。

12月に入りD君の状況悪化。肺に転移、余命が短いと知らされる。胸を締め付けられる思いで、やつれていく彼の見舞を続ける。子ども達は屈託のない言動でD君への作文や手紙づくり。しかし現実は一変し、3月初めD君は9歳という若さで天国へと旅立ってしまった。

子どもたちは泣き崩れ悔しさの中でD君を見送った。半年余りの出来事であるが、D君との繋がりが、別れがクラスを大きく成長させてくれ、団結と思いやりの心は逞しく育った。命日の墓参りは子どもたちが高校生になるまで続いた。小学校教師の在り様とその道に思いを寄せる一年となった。

純粋無垢のつぶらな瞳に導かれ、繋がりの強い2年間が、初等教育に関わる決意をさせてくれた。人生選択の分かれ道となり、私を小学校教諭免許取得へと向かわせてくれた。正に子どもたちは水先案内人であり、灯台、常夜灯であった。こうして39年、童子の屈託のない疑うことを知らない可愛さが、小学校教師道を全うさせてくれた。

感謝の思いでいっぱいである。有難う。



### 小林 正悟 先生

- S47.9 海田町立東海田小学校 教諭
- S56.4 県教委 海田教育事務所 社会教育主事(海田町教委派遣)
- S59.4 県教委 海田教育事務所 社会教育課勤務
- S62.4 東広島市立原小学校 教諭
- H3.4 東広島市立吉川小学校 教頭
- H4.4 東広島市立高屋西小学校 教頭
- H9.4 東広島市立三永小学校 校長
- H12.4 東広島市立高屋西小学校 校長
- H16.4 東広島市立三ツ城小学校 校長
- H19.4 東広島市立西条小学校 校長
- H22.3.31 退職
- H22.4.1 東広島市立寺西小学校 校長(再任用) H23.3.31 まで

令和5年春の叙勲  
瑞宝双光章 受章